

PWC業務担当理事会議156報告

(日時) 平成26年10月29日(水) 11:00~12:10

(場所) 産業支援室応接室

(出席者) 川瀬理事長、吉田理事、小林理事、中島理事、磯崎事務局長、
島津事務局次長、中村事務局書記

1 報告事項

① 千歳科学技術大学佐々木記念賞について

・10月6日に佐々木記念賞の授賞式が行われ、次の5名と1団体が受賞した。

奨励賞～学部2・3年生の学業成績優秀者に贈呈

手島 駿さん(バイオ・マテリアル学科3年)

熊谷 圭祐さん(光システム学科3年)

藤井 祐梨奈さん(グローバルシステムデザイン学科3年)

貢献賞～クラブ活動や学外活動において功績があったものに贈呈

YOSAKOIソーラン部

新家 浩平さん(バイオ・マテリアル学科3年)

学術賞～大学院生の学業成績優秀者、顕著な研究業績を修めた者に贈呈

吉井 達也さん(光科学研究科博士前期課程2年)

※PWCは、佐々木記念賞に協賛し、賞金額の一部(10万円)を負担した。

② 「InterOpto2014」(最先端光技術の国際総合展)への出展支援について

日時:平成26年10月15日(水)～17日(金) 10:00～17:00

会場:パシフィコ横浜(横浜市西区みなとみらい1丁目1番1号)

主催:一般社団法人 光産業技術振興協会

ブース名称:北海道千歳市/千歳科学技術大学(I-604)

展示内容:

- ・ホトニクスバレープロジェクトの紹介
- ・ホトニクスワールドコンソーシアムの紹介
- ・「光パルスを用いた水面距離検出技術」の実演(山林研究室)
- ・千歳科学技術大学の紹介
- ・ナノテクノロジープラットフォーム事業の紹介
- ・千歳市工業団地の紹介
- ・泉沢向陽台住宅地の紹介

※来場者数、約8500人、千歳市ブース来場者数、約800人。

※山林理事、高杉コーディネーター、学生、中村事務局書記がブースを担当した。

※ブース内では、山林研究室が「光パルスを用いた水面距離検出技術」の実験を行い、来場者からは、「従来の技術に対する優位性」や「自動車の燃料タンクの残量測定の可能性」など、新たな共同研究を視野に入れた具体的な問い合わせが数多く寄せられた。

※15日には、PWC理事の山林教授が光産業動向セミナーの講演を行った。

※会員企業であるPSTI社が隣接ブースに出展し、連携してPRを行った。

③ 千歳科学技術大学 2014年度 第4回公開講座の後援について

日 時：平成25年10月26日（日）14：30～16：00

場 所：千歳市民文化センター 3階 視聴覚室

内 容：炭素からの科学 ～炭からナノカーボンまで～

講 師：千歳科学技術大学 准教授 高田 知哉 氏

※当日は、市内外から約35名の参加があり、活発な質疑応答が行われた。

④ 第3回ICT利活用広域連携推進連絡会議の開催について

日 時：10月28日（火） 14：00～15：40

場 所：遠別町役場1階会議室 《予定》

内 容：《講演》 14：05～14：45

「ICTを活用した教育を取り巻く最近の動向について」

文部科学省生涯学習政策局情報教育課

専門職（連携推進担当） 菅原 弘一 氏

《発表》 14：45～15：15

「千歳市立勇舞中学校のICT教育の取り組み」

千歳市立勇舞中学校 教諭 大西 智彦 氏

《質疑・意見交換》 15：15～15：40

※会議終了後、遠別町の教職員のみを対象とした研修を実施した。

※開催前日（27日）午後、文科省菅原氏が勇舞中学校の授業（理科：大西教諭）を視察した。

菅原氏からは、地域におけるICT教育について、ICT支援員が学校に向かう頻度や、先生のICT教育の習熟度等に関する質問があった。

これに対し、ICT支援員からは、学校からは、訪問による直接指導の依頼が多いこと、学校の先生のICT教育の習熟度にはばらつきがあり、ICT教育には、現場の先生の習熟度を高めることが重要な課題であるとの返答があった。

※次回は12月26日（金）に開催予定

⑤ 千歳科学技術大学「コロキウム」の開催について

日 時：10月29日（水） 16:45～17:30

場 所：千歳科学技術大学大学院棟 F203

発表内容

(1) 吉井 達也（山林研究室 M2）

「2モードファイバを用いた二次元歪みセンサの可能性」

(2) 田中 汰久（大越研究室 M2）

「棒状高分子から形成されるスメクチック相の様々な分離構造」

(3) 伊藤 哲平（木村研究室 M2）

「赤外イメージングによる新規骨形態計測法の開発：赤外二色性イメージによる配向性評価法」

※PWCは、本事業に協賛する。

※会員に対し、開催案内を行った。

⑥ 第2回光テクノロジー応用懇談会の開催について

日 時：平成26年10月31日（金） 13：30～17：30

場 所：北海道立総合研究プラザ 1階 セミナー室

タイトル：「食・農・医に役立つナノテク！」

～観る／創る／測る 全国のナノテク先端機器と人材があなたの手に！～

内 容：「食の産地・安全・安心と健康を守るイメージング技術・ナノテク技術が経済成長とQOL (quality of life) を向上させる」

千歳科学技術大学 教授 木村 廣美 氏
上記のほか、「食・農」、「医」に分けた講演、事例紹介セッションなどあり
主 催：ナノテクノロジープラットフォームセンター（JST）
北大・ナノテク連携推進室、千歳科学技術大学、
NPJ 分子合成プラットフォーム、PWC
※JSTが中心となりセミナーを開催し、PWCはこれを第2回光テクノロジー応用
懇談会として位置づけ共催する。
※セミナー終了後、個別相談会を兼ねた交流会を開催する（会費1,000円）。
※申し込み人数は、10月24日現在37名となっており、千歳市内の企業からは4
社、千歳科学技術大学、千歳市、千歳商工会議所、PWCを合せ14名の参加申し
込みがあった（PWCからは事務局長以下3名出席）。

⑦ ビジネス EXPO 北海道技術・ビジネス交流会への出展支援について

日 時：平成26年11月6日（木）～7日（金）

場 所：アクセスサッポロ

主 催：北海道 技術・ビジネス交流会実行委員会

ブース名称：千歳科学技術大学

展示内容：

- ・千歳科学技術大学の紹介
- ・ナノテクノロジープラットフォーム事業の紹介
- ・ホトニクスバレープロジェクトの紹介
- ・ホトニクスワールドコンソーシアムの紹介
- ・千歳市工業団地の紹介
- ・泉沢向陽台住宅地の紹介

※会員であるPSTI社も中小企業基盤整備機構ブースに出展する。

※PWCは、5日（水）、科技大、PSTI両ブースの設営作業（中村）を支援する。

※当日の科技大ブースにおける来場者対応担当者は下記のとおり。

6日（木）中村、桜井

7日（金）島津、河野、高杉、桜井

⑧ 北洋銀行ドリーム基金の周知について

対象者：（1）原則資本金3億円以下または従業員300人以下の中小企業及び個人
（2）北海道内に主たる事業所を有し、事業を営んでいること

助成対象：新技術・新製品の研究開発に必要な費用

助成内容：（1）助成金額：1研究開発に対し、最高限度100万円

（2）助成件数：最大10研究開発を予定

審査方法：学識経験者からなる当基金「技術審査委員会」の審査結果に基づき理事会で
決定

決定時期：平成27年3月（予定）

申込期日：平成26年10月31日（金）

申 込 先：公益財団法人 北洋銀行中小企業新技術研究助成基金 事務局

※会員には情報提供済であるが、クラスターでの研究を中心に個別に打診中
（現状）個人会員1件が申請準備中、賛助会員1件が申請済。

⑨ 青少年のための科学の祭典千歳大会への後援及び協賛について

日時：平成26年11月9日（日） 10:00～15:00

場所：北ガス文化ホール（千歳市民文化センター）

主催：青少年のための科学の祭典千歳大会実行委員会

（公財）日本科学技術振興財団・科学技術館

後援：文部科学省、経済産業省、NHK、千歳市、千歳市教委ほか

内容：自然科学分野に関わる工作・実験・観察等の体験

自然科学分野から人文・社会科学分野も含む幅広い分野に関する展示

※PWCは、本事業を後援するとともに、30,000円を協賛する。

※10月30日開催の実行委員会において、当日の役割等が決定される。

(事務局1名支援予定)

⑩ 戦略的基盤技術高度化支援事業（新世代高速通信向け波長選択スイッチ用マトリクス型コリメータ実装技術の研究開発）について

・H26第1回研究開発委員会を次のとおり開催する。

開催日 11月27日（木）15：00～

場 所 千歳アルカディア・プラザ1F 多目的ホール

アドバイザー（予定）

埴 文 明 氏 NTTエレクトロニクス株式会社フォトニックコンポーネント
事業本部製造センター・副センター長

八 巻 重 則 氏 元北日本電線株式会社光デバイス事業部長

※アドバイザーのほか、北海道経済産業局も出席し、研究開発委員会を開催する。

⑪ 戦略的基盤技術高度化支援事業（新世代高速通信向け波長選択スイッチ用マトリクス型コリメータ実装技術の研究開発）中間検査について

実施時期 11月下旬～12月初旬（日程調整中）

場 所 千歳アルカディア・プラザ

※PWCが受託している事業について、北海道経済産業局の中間検査を受検する。

※PWCは、検査に先立ち、再委託先（科技大、PSTI）の事前検査を実施する（11月10日予定）。

2 審議事項

① 第3回光テクノロジー応用懇談会の開催について

日 時：平成27年2月6日（金）15時30分～17時00分（予定）

場 所：千歳アルカディアプラザ

内 容：（1）千歳工業クラブからの講演

（2）科技大からの講演

バイオミメティクス研究について（仮題） 下村教授

（3）ナノテクノロジープラットフォーム事業の紹介

※千歳工業クラブからの講演における講師については、同クラブと調整中

※懇談会終了後、交流会（1時間程度）を開催する。

※高杉コーディネーター、千歳工業クラブ、JST、道総研等関係者と連携し準備を進める。

3 その他

① 次回開催について

日 時：11月21日（金） 11：00～

場 所：産業支援室応接室